

令和 5年度

事務事業評価表 (令和 4年度 の実績評価)

記入年月日
令和 5 年 4 月 1 日

事務事業名		真壁体育館管理運営事業			事業区分		担当	
					新規/継続	継続	事務事業No.	020402000079
					単独/補助	単独		090501
政策体系上の位置付け							所属課	スポーツ振興課
政策体系	総合計画の施策名	0204 生涯スポーツ活動の振興					課長名	
	政策名	02 生きがいを育む学びのまちづくり					グループ	スポーツ振興G
	施策名	04 生涯スポーツ活動の振興					担当者名	
	手段名	02 ②快適な施設利用の推進						
財務会計上の位置付け					事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計	
	01	10	06	02	05	00	単年度繰返し (昭和54年度~)	
							体育館管理事業 (真)	
法令根拠	桜川市体育施設設置及び管理に関する条例							☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
桜川市真壁町古城377に所在する(延床面積1,887㎡)建築物の真壁体育館を管理する事業である。 職員が常駐し、施設の維持管理、利用者の利用調整を行っている。利用にあたっては、桜川市体育施設設置及び管理に関する条例の施設使用料及び減免規則に照らし合わせ、利用内容に適した使用料をいただいております。市内は半面750円全面1500円市外は2倍の料金となっている。主な利用内容は、スポーツ(バレーボール・バスケットボール・ビーチバレーボール・バドミントン等)で、幅広い年齢層に利用され、その他イベント等にも利用されることもある。桜川市緊急避難場所として指定されている。	施設維持管理 体育館の貸出 利用団体の調整 【担当者が行う業務の手順】 ○市職員業務：施設の維持管理、委託契約、利用調整、使用許可申請書の受付、使用許可書の交付、施設間の連絡調整。 ○夜間管理員の業務：施設の開閉、電話番、戸締まりの確認、施設の見回り、 ○休日管理員の業務：施設の開閉、電話番、戸締まりの確認、清掃

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)
管理運営には、市職員1名(行二)、行政専門員1名、会計年度任用職員3名(うち、事務職員2名、施設管理職員1名)を雇用し、夜間については会計年度任用職員2名が輪番制で毎日1名で管理している。	保守点検回数	回	38.00	38.00	38.00	38.00	38.00
	貸出日数	日	273.00	273.00	308.00	308.00	308.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)
市民	人口(常住人口)	人	38,422.00	37,653.00	37,269.00	36,885.00	36,500.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)
スポーツができる施設を利用する。スポーツを楽しみながら、健康づくりをすることができる。	不具合件数	件	6.00	5.00	1.00	1.00	1.00
	不具合対応率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	利用者数	人	10,565.00	12,859.00	15,000.00	15,000.00	15,000.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)	期間限定総投入量
投入量	事業費内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	303	258	230	
		その他	千円	742	172	170	
		一般財源	千円	13,385	32,466	36,845	
		事業費計(A)	千円	14,430	32,896	37,245	
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人		

04年度事業費 実績 (千円)		05年度事業費 予算 (千円)	
01 報酬	5,431	01 報酬	5,503
03 職員手当等	670	03 職員手当等	675
08 旅費	40	08 旅費	41
10 需用費	4,506	10 需用費	5,899
11 役務費	532	11 役務費	535
12 委託料	1,922	12 委託料	2,407
13 使用料及び賃借料	244	13 使用料及び賃借料	246
14 工事請負費	19,500	14 工事請負費	21,876
15 原材料費	27	15 原材料費	30
17 備品購入費	24	17 備品購入費	33
	合計		合計
	32,896		37,245

(4) 当該年度の実施内容	05年度の事業内容	06年度の事業内容	07年度の事業内容
※年度ごとに事業内容を記入する			

事務事業名	真壁体育館管理運営事業	事務事業No.	20402000079	所属課	スポーツ振興課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
昭和54年4月8日に、真壁体育館が開設され、施設の利用が開設された。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
備品の充実と結露対策の要望及び体育館北側砂利時期駐車場の舗装の要望がある。当体育館は史跡真壁城跡の敷地内であるため、体育館敷地の拡張は困難であるが、駐車場の拡張の要望を受けている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 体育施設の維持管理、貸出で市民が体育館を利用してスポーツを楽しむことによって、結果の「市民がスポーツを安心して行える環境の確保」「スポーツを楽しむ機会の増加」に結びつく。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市内にある施設を利用できることは利便性が高く、スポーツを楽しむ機会と体力づくり、健康推進にもつながり、税金を投入することは妥当である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 老朽化により修繕箇所が増えているので、優先順位をつけた修繕計画をたて、修繕していく必要がある。
公平性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市民がスポーツを実践する機会が失われる。
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業がない。
公平性	⑥事業費・人件費の削除余地 (成果を下げずに事業費を削除できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 施設の経年劣化による修繕費や保守点検委託料などの維持管理費に関して削減は困難である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 受益者負担の原則に基づき、使用料を徴収しているので、公平性が確保されている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	老朽化により修繕箇所が増えているので、優先順位をつけた修繕計画をたて、修繕していく必要がある。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 修繕を進めることにより、利用者の利便性を図る。		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○	×			×	×	×
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
			○	×																	
		×	×	×																	
(6) 事務事業優先度評価結果		①																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>